

第43回番組審議 審議結果について

1. 開催年月日 平成30年2月23日（金）11時～
2. 開催場所 （株）ケーブルメディア四国 会議室
3. 出席委員 （7名 出席）

灘波	順一	委員長
加藤	昭彦	副委員長
北川	つき子	委員
長谷	有美	委員
合田	恵梨子	委員
大西	均	委員
古竹	孝一	委員

4. 会社側出席者
藤綱 郁夫 （取締役社長）
大通 孝志 （放送部長）
田中江里子 （放送部編成制作課長）
森 朋子 （放送部編成制作課課長代理）

5. 審議結果

議案の自主制作番組「検証！屋島源平合戦 ～源義経軍の足跡を追う～」について、担当者より番組制作の意図などを説明した後、番組を視聴して頂いた。各委員からの主な意見は次のとおり。

（主な意見）

- 今までに無い番組であったので、とても新鮮で勉強になった。また、高松大学の千葉先生による裏づけがあり、解説も分かりやすかったので、興味深く見る事ができた。
- 地域に感心を持ってもらうために、地域の歴史を取り上げた番組を制作してもらうことは大変ありがたい。
- 57分は長いと思ったが、4章に分けて整理されており、理解しやすく一気に見ることができた。
- 今回の番組は、ぜひ若い方にも見てもらいたい。HPでダイジェスト版を見られると良いと思う。
- スケジュールの都合等で調整できなかったと思うのだが、雨が残念であった。雨の景色も風情があってよいのだが、資料が濡れたり、車の走行音が大きくなるなどマイナス面も大きかったのではないかと思う。
- ブレイクタイムとして用いたであろう地域のランチ情報に違和感があった。歴史に特化しても良かったのではないか。
- 歴史に弱く、歴史番組はあまり見ないので、番組の冒頭で源平合戦や屋島の歴史などの簡単な説明があれば、もっとわかりやすくなると思う。
- 景色が良く、義経桜など行ってみたい場所がたくさんあったので、番組の最後に纏めて紹介して欲しい。
- 4つの章に分かれていたが、57分の尺は少々長くてストレスがかかった。ターゲットを明確にする、ポイントを絞るなどの工夫が望まれる。

（総括）

- 知っているようで知らない地域に密着した歴史を取り上げた、地域社会に貢献できる良い番組である。
- 今後も、ケーブルテレビの強みを活かし、地域住民の関心を高めるような番組作りをして欲しい。

以上

議案 自主制作番組

番組タイトル	検証！屋島源平合戦 ～源義経軍の足跡を追う～
放送期間・番組尺	2018年1月1日～8日 年始特別番組 57分
番組コンセプト	<p>お客さま満足度のさらなる向上と新規お客さまの加入促進に向け、視聴機会の増える年始特別番組として、全国的にも有名な地元の歴史にスポットを当てた新しいジャンルの番組を制作した。</p> <p>歴史的に重要な源平合戦屋島の戦い。屋島檀の浦で行われた戦い自体は「義経の弓流し」や「那須与一の扇の的」などの伝説もあり有名だが、義経軍が屋島まで至った道のりは知る人は少ない。そこで、屋島合戦に詳しい高松大学文化講師の千葉先生の協力のもと、様々な歴史資料からその道のりを探り、屋島の戦い全体を知ってもらう。</p>
番組内容	<p>高松大学の千葉先生にご協力いただき、内容を4つの章に分け、大坂峠を出発した義経がどういう道のりを経て屋島に至ったのかを、実際にそのルートをたどりながら紐解いていく。各所で、その根拠となる資料を示しつつ、合理的なルートを探る。また「伝説と歴史は違うもの」という視点で考察を進めているが、各地に残る伝説も紹介し、対比を楽しむ。</p> <p>最後には、屋島で行われた戦いなのに対岸の牟礼に伝説が多く残っている理由も推測する。</p>
出演者	MC森・高松大学文化講師 千葉幸伸先生
プロモーション	チャンネルガイド・HP・フェイスブック・特別番組チラシ
今後の動き	<p>歴史番組の特徴として、補足説明を入れないとわからない部分が多く、それに時間をとられてしまった。今回の番組では、定説や扇の的の場所の見解説明が不十分になった。今後は、焦点を絞って考察を深め、より視聴者の視点に立った歴史番組制作に努めていく。</p>